

2008年(平成20年)

1月7日(月)

第9号

ひまわり通信

発行所 ひまわり歯科

〒229-0031 神奈川県相模原市相模原 5-5-1

電話(042)750-6143 FAX(042)756-4334

URL: <http://www.himawari.serio.jp>



スタッフ研修の実施



平成十九年十二月二日(日) 医院のスタッフ及び歯科医師を対象に研修を実施しました。今回の研修は「心肺蘇生法とAEDの使用に関する救急法」「患者様への接し方と注意点について」「安全運転について」「高齢者の歯科治療におけるリスク管理」これら4つの題目をメインに行いました。こうして考えてみると、私たちが行っている(訪問) 歯科診療は日々危険と隣り合わせの仕事であることを改めて実感しました。毎日運転をしているので交通事故にいつ遭遇するかわかりません。治療中に患者様の容態が急変し呼吸困難になる可能性もあれば、心

停止になることがあるかもしれません。投薬や処方、麻酔の種類・分量等の間違いによって医療事故が起る可能性もゼロではないです。これらは介護や医療に携わる方全員に伝えることではありますが、大事なのはこういった状況の中に自分が置かれているということに常に意識することだと思います。そのために当院では定期的に研修を行っています。

それでは簡単に研修の内容を紹介します。

『心配蘇生法とAEDの使用に関する救急法』では日本赤十字社の指導員二人に三時間みっちり指導していただきました。全体の手順、人工呼吸・心臓マッサージの方法、AEDの使用法、それぞれの注意点を教わり、この作業をひたすら繰り返し行いました。さすがに指導員の方は教えるのも慣れており限られた時間で必要なことをしっかりと教えてくださいました。時間の経過と共に歯科医含むスタッフ一人一人がどんどん上達していくのが見て取れました。

『高齢者の歯科治療におけるリスク管理』では、東京医科歯科大学大学院医師学総合研究科助教の大瀬 凡人(おおわたたり つねと) 先生に来ていただき、歯科医師のみを対象とした講義と、歯科医師・スタッフ両方を対象にした講義をそれぞれ行っていました。

高齢者の歯科治療は一步間違えると全身(内科的)に影響を与え最悪の場合死につながるケースもあります。安全な歯科治療を実現するために、内科的な緊急事態を避ける方法、発生した



場合の対応について先生自身の体験を交えながら教えていただきました。質疑応答では、当院の何名かの先生から現在かかえている患者様のことを相談させていただきました。その場で大瀬先生より実践的なアドバイスがいただけましたのでとてもためになりました。今後行っていききたいと思います。

ペット紹介のコーナー



コディネーターの小山内君が飼っているチワワのクウちゃん(六ヶ月・雄)です。クウちゃんの癖はお腹を出して仰向けのまま寝る事です。一人暮らしの小山内君はとも感されるとのことです。

